

科目名	キャリアデザイン1						年度	2026	
英語科目名	Carrier design 1						学期	通年	
学科・学年	ロボット科 1年次	必/選	選1	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	石川	教員の実務経験		無	実務経験の職種				

【科目の目的】

就職活動への準備をするとともに卒業後の進路について考えます。また、品質管理検定やビジネス能力検定などの資格を取得できる知識を身につけます。資格取得やボランティア活動などを単位認定します。

【科目の概要】

社会人として知っておくべき仕事の進め方や品質管理に関する用語、企業活動の基本常識を理解し、これを日々の学習や生活の中に取り入れ、実践していくことを目指し授業を進める。この授業で学ぶ、PDCAや報告・連絡・相談（ほうれんそう）、改善活動、5W1Hなど、日々の学習や報告書作成にも役立てていただきたい。安全衛生（ヒヤリハット、KY活動）の知識は、ものづくりの実技科目履修の際に特に意識して取り組んで欲しい

【到達目標】

日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会に出てから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、品質管理の重要性を理解することなどができるようになることを目標としており、併せて日本規格協会が実施する品質管理検定試験の合格によるキャリアアップ実現を目標にしている。

【授業の注意点】

キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、社会の動きや個別企業の状況などを概説するので、日々、社会の情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	常にPDCAを実践している	PDCAを試行している	PDCAを理解している	PDCAという言葉を知っている	PDCAという言葉を知っている
到達目標 B	品質管理検定試験に合格した	品質管理検定試験を受験した	品質管理検定試験を受験を申し込んだ	品質管理検定試験を受験する予定	品質管理検定試験取得に取り組めない
到達目標 C	自分の所望する業界のリサーチができています	自分の所望する業界を理解している	自分の所望する業界がどこかを理解している	自分の所望する業界が未だわからない	業界に興味がない
到達目標 D	自分の所望する職種に必要なスキルアップは何かを理解している	自分の所望する職種を理解している	自分の所望する職種が何となくわかっている	自分の所望する職種が未だわからない	職種に興味がない
到達目標 E	報連相を実践できる	報連相を試行している	報連相を理解している	報連相という言葉を知っている	報連相という言葉を知っている

【教科書】

品質管理検定（QC検定）4級の手引き、日本規格協会

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

課題（100%）毎回提出の課題で評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		キャリアデザイン1			年度	2025	
英語表記		Carrier design 1			学期	通年	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	オリエンテーション	この科目の位置づけ、学習内容、到達目標を理解する	1	キャリア形成	キャリアの意味とキャリア形成を理解している	1	
			2	日本の労働環境	日本の労働環境の概要を理解している		
			3	到達目標	品質管理検定試験への取り組みを理解している		
2	企業活動の基本(1)	製品とサービス、職場における総合的な品質を理解する	1	製品	品質管理における製品を理解している	1	
			2	サービス	品質管理におけるサービスを理解している		
			3	品質とは	求められる品質を理解している		
3	企業活動の基本(2)	報告・連絡・相談、5W1Hの重要性を理解する	1	報告・連絡・相談	報告・連絡・相談の重要性を理解している	1	
			2	5W1H	5W1Hの重要性を理解している		
			3	実践	報告・連絡・相談が実践できる		
4	企業活動の基本(3)	企業生活のマナー、規則と標準(就業規則を含む)および安全衛生の意識を養う	1	企業生活のマナー	企業生活のマナーを理解している	1	
			2	規則と標準	規則と標準を理解している		
			3	安全衛生の意識	安全衛生の意識を理解している		
5	企業活動の基本(4)	三現主義、5ゲン主義、5Sを理解する	1	三現主義	三現主義を理解している	1	
			2	5ゲン主義	5ゲン主義を理解している		
			3	5S	5Sを理解している		
6	品質管理の実践(1)	品質とその重要性、品質管理の考え方を養う	1	品質	品質を理解している	1	
			2	品質管理	品質管理を理解している		
			3	品質管理活動	品質管理活動を理解している		
7	品質管理の実践(2)	お客様満足、苦情、クレームおよび問題と課題を理解する	1	お客様満足	お客様満足について理解している	1	
			2	クレームと苦情	クレームと苦情を理解している		
			3	問題と課題	品質管理の問題と課題を理解している		
8	品質管理の実践(3)	管理活動、仕事の進め方(PDCA)を理解する	1	管理活動	管理活動について理解している	1	
			2	PDCA	PDCAサイクルを理解している		
			3	演習	演習課題が解ける		
9	品質管理の実践(4)	改善、QCストーリー、3ム、小集団活動と重点思考を理解する	1	改善とQCストーリー	改善とQCストーリーを理解している	1	
			2	3ム	3ムの意味を理解している		
			3	小集団活動	小集団活動を理解している		
10	品質管理の実践(5)	前工程と後工程、工程の5Mと異常について理解する	1	工程	工程について理解している	1	
			2	5M	5Mを理解している		
			3	異常	工程の異常を理解している		
11	品質管理の実践(6)	適合、不適合と検査の種類、ロットの合格・不合格を理解する	1	適合と不適合	適合と不適合を理解している	1	
			2	検査の種類	検査の種類を理解している		
			3	ロット	ロットを理解している		
12	品質管理の実践(7)	標準化、業務に関する標準、品物に関する標準を理解する	1	標準	標準を理解している	1	
			2	標準化	標準化を理解している		
			3	規格	規格を理解している		
13	品質管理の手法(1)	データ種類、データの取り方、まとめ方を理解する	1	データの種類	データの種類を知っている	1	
			2	データのとり方	データのとり方を理解している		
			3	データのまとめ方	データのまとめ方を理解している		
14	品質管理の手法(2)	QC7つ道具を理解し、活用できるようになる	1	QC7つ道具とは	QC7つ道具を理解している	1	
			2	QC7つ道具使い方	QC7つ道具使い方を理解している		
			3	QC7つ道具の活用	QC7つ道具を活用できる		
15	まとめ	品質管理検定試験の過去問への回答	1	特性要因図	品質管理の学習範囲を特性要因図に整理できる	1	
			2	過去問題	試験に合格するレベルの理解ができています		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等